

# 熊本市東区まちづくり懇話会報告書（案）



平成 27 年 月 日

熊本市東区まちづくり懇話会

# 【目 次】

1	報告にあたって	1
2	協議内容	
	<b>(1) まちづくり懇話会からの提案事項</b>	<b>2</b>
	①【継続】東区民まつり開催経費	
	②【継続】地域情報受発信充実事業	
	③【新規】東区の七不思議発掘事業	
	④【継続】託麻三山ウォーキング	
	⑤【継続】安全安心のまちづくり事業（防犯）	
	⑥【継続】地域防災合同訓練事業	
	⑦【継続】高齢者がいきいきと暮らせる支援体制づくり	
	<b>(2) 東区役所提案事項</b>	<b>6</b>
	①【継続】東区民文化スポーツ交流事業	
	②【継続】地域コミュニティづくり支援補助金	
	③【継続】安全安心のまちづくり事業（交通安全）	
	④【新規】健康まちづくり活性化経費	
	⑤【継続】東区スマートライフプロジェクト事業	
	⑥【継続】東区健康まちづくりサポーター養成事業	
	⑦【継続】校区単位の子育てネットワーク推進のためのマップ作成	
	⑧【継続】子どもの遊びプランナー養成事業	
	⑨【継続】東区農業者ネットワークづくり推進経費	
	⑩【新規】東区未来会議の開催	
	⑪【継続】地域課題検討会改善策実施経費	
	<b>(3) その他意見</b>	<b>12</b>

## 【参 考 資 料】

1	熊本市東区まちづくり懇話会設置要綱	13
2	熊本市東区まちづくり懇話会委員一覧	14
3	熊本市東区まちづくり懇話会 審議経過	15



## 東区まちづくり懇話会 協議項目

### 1 まちづくり懇話会からの提案に対する取組み

#### (1) 東区民まつり開催経費【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
現状・背景・地域ニーズ	<p>東区民まつりは、東区まちづくりビジョンの基本方針の一つである「人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち」をめざし、区内における様々な地域団体、学校等が参加協力して区民相互の交流と親睦を深め、区民の連帯感やふるさと意識の醸成を図ることを目的とし、本市が政令指定都市に移行した翌年度の平成 25 年度から毎年 11 月に開催している。</p>	
課題	<p>区民主体による自主自立のまちづくりを進めるにあたっては、区民や団体、企業等が協力・連携し、それぞれが主体的に取り組んでいく必要がある。</p> <p>そのような中、企画運営全般を行政主導で行っていることから、区民主体のまちづくりを推進していくにあたっては、区民等が企画立案の段階から積極的に参加できる形に方向転換していく必要がある。</p>	
委員提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区民まつりについては、地域の活性化という面から各地域の持ち回り開催はできないのか。</li> <li>・現在の 2～3 倍の規模にしなければ、区の PR にならない。全校区の区民が参加できる仕組みが必要。</li> </ul>	

(2) 地域情報受発信充実事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
現状・背景・地域ニーズ	<p>行政は、市政だよりやホームページなどの広報媒体を使い、また、地域でも自治会回覧や町内掲示板などにより、住民に情報を提供しているが、それらの情報は区民にうまく伝わっていない現状にある。</p> <p>区政や地域のまちづくりを推進していくためには住民との情報共有が不可欠であり、情報提供のあり方について検討する必要がある。</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ひがっぴいだより」については、「見やすくなった」、「友人にあげたい」等の評価を少しずついただいている。しかし、評価されるのは高齢者が主であり、また大学生・高校生は存在を知らないとの意見もある。</li> <li>・若年層の情報収集方法については、興味のあるものを除いては、web で入ってくる情報やロコミであることから、若年層へ届く情報発信方法の検討が必要である。</li> </ul>	
委員提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信については、官が得意なところ、民が得意なところの連携が大切だと思う。</li> <li>・どこを窓口が発信するのか、情報の集約をして発信していけるところがあるといい。</li> </ul>	

(3) 東区の七不思議発掘事業【新規】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進 3 地域の歴史・文化の活用
現状・背景・地域ニーズ	<p>9月5日(土)に「東区中学生による未来会議」を開催し、6校11名の参加があり、ワークショップ形式による意見交換を行なった。</p> <p>まちの活性化のため、もっと東区の魅力を外に発信したい旨の意見があった。</p>	
課題	<p>東区の魅力を外にPRするにあたっては、自分たちの住むまちを再認識する必要がある。</p>	
中学生提案	<p>中学生による未来会議において、「地域のことをもっと知りたい」「東区の魅力をもっとPRした方がいい」との考えから、「東区の七不思議を作ると面白い」等の意見があった。</p>	
懇話会意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ターゲットとする年齢層、参加者を増やす方策、事業を継続していくための仕組みづくりが必要である。企画段階で明確な方向性を決めるべき。</li> <li>・具体的な行程表を作成し、進行管理が必要である。</li> </ul>	

(4) 託麻三山散策ウォーキング【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を超えて語り合えるまち 3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1-1 地域コミュニティ活動への参加促進 3-1 健康づくり活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	地域の歴史・文化・自然に対する区民の関心は高く、それぞれの地域で様々な活動が行われているが、より広く交流が深まるような取組みを実施する。	
課題	地域の歴史、文化、自然の大切さを若い世代にも引継いでいく必要がある。	
委員提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境保全ではなく健康づくりの視点で託麻三山を考えていただければいいと思う。</li> <li>・スタンプラリーも商店街でできないかと考えている。</li> </ul>	

(5) 安全安心のまちづくり事業（防犯）【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	2 誰もが安全で安心して過ごせるまち
	重点的テーマ	1 防犯活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	<p>東区の刑法犯認知件数は年々減少傾向にはあるが、その内約 3/4 は自転車盗・オートバイ盗・車上ねらい等の窃盗犯が占めている。</p> <p>また、高齢者を狙った詐欺やひったくり等の犯罪も区民の安全な日常生活を脅かしている。</p>	
課題	東警察署及び校区防犯協会と連携を取りながら、青パトによる防犯パトロールや広報啓発により区民の防犯意識の向上と犯罪抑止を目指しており、犯罪の発生件数は年々減少傾向にはあるが、特殊詐欺等の新たな犯罪も増えている。	
委員提案	日常使用する公用車にも「防犯パトロール中」の表示を貼ってはどうか。	

(6) 地域防災合同訓練事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	2 誰もが安全で安心して過ごせるまち
	重点的テーマ	3 災害に強いまちづくり
現状・背景・地域ニーズ	校区で行う防災訓練を支援しているが、実施校区の固定化が見られ、過去に実施したことのない校区も新たに行うことが望ましい。	
課題	過去に訓練を実施したことのない校区に対して、そのノウハウや実施することによる効果を伝える場がなかったため、実施内容や準備などの方法が分からないことが、新規に取り組む校区が少ない原因の一つと考えられる。	
委員提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防災合同訓練は、18校区全体の防災訓練をしてはどうか。</li> <li>・東区全体での防災訓練ができれば、防災意識も向上し、自主防災クラブがない町内でも必要性を感じるのではないかな。</li> <li>・防災については、モデル事業を発表する場を設けたり、ノウハウを伝授していくのも大事だと思う。</li> <li>・区全体での開催が難しいのであれば、出張所単位での開催はできないか。他校区の様子もわかり、防災意識の向上にもつながるのではないかな。</li> <li>・地域によって防災意識の温度差がある。また、防災意識の向上という面で考えれば、実際に起震車等の体験ができる小規模の訓練も効果があるのではないかな。</li> <li>・訓練への参加促進のため、参加者へ啓発品を配布してはどうか。</li> </ul>	

(7) 高齢者がいきいきと暮らせる支援体制づくり【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	3 みんなで助け合う福祉のまちづくり
現状・背景・地域ニーズ	高齢化を背景に、認知症を有する人も増えており、声かけや見守り、介護状態になることをできる限り防ぐという取り組みの必要性が高まっている。	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症徘徊模擬訓練を通し、「認知症をよく知る」ための事前勉強会の重要性が明らかになってきた。</li> <li>・地域全体で見守り支えあう体制づくりを広めていく必要性が明らかになってきた。</li> <li>・介護予防サポーターをはじめとした地域におけるマンパワーの確保が課題である。</li> </ul>	
委員提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症徘徊模擬訓練は年1校区では間に合わないので増やしてほしい。</li> <li>・認知症訓練についてのレクチャー依頼等、居宅介護支援事業所に在籍するケアマネージャーを活用してはどうか。</li> </ul>	

## 2 区提案の取組み

### (1) 東区民文化スポーツ交流事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を超えて語り合えるまち
	重点的テーマ	1 地域コミュニティ活動への参加促進
現状・背景・地域ニーズ	<p>東部地区サッカー大会を基盤に 18 校区を対象に東区小学校交流サッカー大会を平成 25 年度から 2 回開催した。(第 1 回 H25.8.10、第 2 回 H26.2.14)</p> <p>また、26 年度からは体協と共催によるミニバレーボール大会の開催や、地域主催の「ちびっこまちづくり相撲大会」・「東部地区駅伝競走大会」・「中村汀女顕彰俳句大会」・「ピアクレス七夕まつり笹飾りコンクール」へ区長賞（賞状、盾等）の提供を行っている。</p>	
課題	<p>第 1 回ミニバレー大会は、18 校区中 17 校区（男子の部 15 チーム、女子の部 16 チーム）の参加、サッカー大会は、第 1 回は 18 校中 12 校、第 2 回は 16 校の参加、今年度はまだ未定であるが全校参加の実現に向けて今後も調整が必要である。</p>	
対応方針・新たな取組み	<p>サッカーやミニバレーボール大会の開催については、全 18 校区が参加できるよう平成 28 年度も早い時期に打合せ会議を実施し、開催時期やスケジュールの調整を行う。</p> <p>また、体協長連絡会等で新規競技の開催を検討する。</p> <p>地域主催の「ちびっこまちづくり相撲大会」・「東部地区駅伝競走大会」・「中村汀女顕彰俳句大会」・「ピアクレス七夕まつり笹飾りコンクール」への区長賞（賞状、盾等）の提供は継続する。</p>	

### (2) 地域コミュニティづくり支援補助金【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	1 人と人がつながり世代を越えて語り合えるまち
	重点的テーマ	2 地域団体の育成・支援
現状・背景・地域ニーズ	<p>地域では、様々な団体間の連携・調整を図りながら、まちづくり活動に主体的に取り組んでいるが、防犯・防災、環境美化や子育て支援、高齢者福祉等の具体的な地域課題の解決に向けた活動に取り組もうとしても、資金の不足から難しい状況がある。これら、地域課題解決への取り組みや特色を活かしたまちづくり活動を支援するための新たな制度として創設された（5 区共通）。</p>	
課題	<p>政令指定都市へ移行してから 3 年が経過し、補助金制度の有り方を検討するためのアンケートを行ったが、現行のままでよいとの意見が多かった。また、活動資金や人的体制が整っている町内自治会は、補助制度を利用し新規事業や事業の拡大ができるが、自治会の運営を継続していきただけで補助制度を利用する余力のない自治会も存在する。</p>	
対応方針・新たな取組み	<p>平成 26 年度に補助対象団体を拡充し、より多くの地域団体が活用できるよう見直しを行ったところであり、当面は現在の制度の周知を図り活用を促していく。また、自治会の会合等に積極的に参加し活性化の取り組みを支援していく。</p>	

(3) 安全安心のまちづくり事業（交通安全）【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	2 誰もが安全で安心して過ごせるまち
	重点的テーマ	2 交通安全対策の推進
現状・背景・地域ニーズ	<p>東区内の交通事故発生件数は減少傾向にあるものの、子どもや高齢者の事故が全体の約 1/4 を占めている状況にある。</p> <p>また自転車の利用状況を見ると、「右側通行」や、傘差し、携帯・イヤホン使用などの「ながら運転」が目立ち、安全運転に対する意識が低い。</p>	
課題	<p>道路交通法の改正により自転車の車道通行は左側通行が義務付けられるとともに自転車の交通違反についても取締りが強化されたが、まだまだ区民への周知が充分ではない。</p>	
対応方針・新たな取り組み	<p>現在のキャンペーンや街頭広報を継続的に行うことにより車や自転車の安全利用に対する区民意識を高める。</p> <p>特に中高生の自転車マナーの向上については、積極的に啓発活動を行う。</p> <p>また、区民まつりにおいても交通安全の啓発ブースを設置し広く区民に広報啓発を行う。</p>	

(4) 健康まちづくり活性化経費【新規】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 健康づくり活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	<p>平成 24 年度から、誰もが住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らし続けることができるよう小学校区を単位とした健康をテーマにしたまちづくりに取り組んでおり、それを推進する健康まちづくりサポーターを養成してきた。平成 27 年 6 月、養成講座の修了生が健康まちづくり推進員となり「健康まちづくり推進協議会」を設立。</p> <p>今後は、各校区が主体的に健康まちづくりを推進していくためには、健康まちづくり推進員が核となり、多くの住民が楽しく参画できる取り組みが必要である。</p>	
課題	<p>健康まちづくりのさらなる継続と広がりのためには、子どもから高齢者まで住民が無理なく楽しみながら行うことが出来る方法や内容の検討が必要である。</p>	
対応方針・新たな取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>健康まちづくり推進員とともに、他都市の健康まちづくりの先進地視察を行い、校区で推進できる方法等を学ぶ。</li> <li>健康まちづくり推進員を中心に、住民が大勢参加し楽しめるような校区の健康まつりを企画・実施する。</li> <li>気軽に健康チェック（血圧測定）ができ、住民の健康意識を高める環境の整備を行う。スポットタイプ自動血圧計を東区役所に常設。</li> </ul>	

(5) 東区スマートライフプロジェクト事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 健康づくり活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東区では、働き盛り世代の肥満、糖尿病や高血圧等の生活習慣病に罹患している人の増加がある。そのため、これらを予防し健康寿命を延伸することが喫緊の課題である。</li> <li>・健康づくり活動に取り組む動機付けや行動変容を促し、生活習慣病の予防につなげる必要がある。</li> </ul>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・働き盛り世代は子育て世代と重なり、日々仕事や子育てで忙しい状況にあり、健康教室への参加は困難である。</li> <li>・自分の健康について意識はしていても、運動習慣や適切な食習慣となる健康行動に結びつけることやさらにそれを継続することはなかなか困難である。</li> </ul>	
対応方針・新たな取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度は、熊本県が開発した「くまもとスマートライフ」（無料歩数計アプリ）の利用を促すとともに、より多くの区民に対して、健康づくり活動の動機付けと行動変容を促すためのイベントを実施する。</li> <li>・平成 28 年度はこのくまもとスマートライフの活用実績等により検討する。</li> </ul>	

(6) 東区健康まちづくりサポーター養成事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	1 健康づくり活動の推進
現状・背景・地域ニーズ	<p>少子高齢化の進展や住民の生活スタイルの多様化に伴い、生活習慣病予防・介護予防の必要性が高まっている。住み慣れた地域で生涯健康でいきいきと暮らし、子育て世代・壮年期・高齢者等それぞれの世代に応じた対応や働きかけが求められている。平成 24 年度から小学校区単位の健康まちづくり事業の推進に取り組んでいる。</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18 校区全てに、健康まちづくりを推進するサポーター養成を目指しているが、養成講座を開始して 3 年目であり、まだサポーターがいない校区がある。</li> <li>・サポーターによる健康増進の取り組みや啓発を継続していくため、サポーターの継続的な活動の場や、活動促進の仕組みが必要である。</li> </ul>	
対応方針・新たな取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年度に設立した「健康まちづくり推進員協議会」の運営支援</li> <li>・健康まちづくり推進員の活動の支援（各校区での活動を計画的に行う）</li> </ul>	
懇話会意見	<p>サポーターの卒業生については、学んだことを生かしていくためにも、研修会等への参加呼びかけを行うなど、継続して関わる意識を持つ方策が必要。</p>	

(7) 校区単位の子育てネットワーク推進のためのマップ作成【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	2 子どもの育成環境づくり
現状・背景・地域ニーズ	<p>少子化および核家族化に伴い、子育て世代の孤立化が増加している。</p> <p>住み慣れた地域で安心して子育てができるまちづくりを目指して、校区単位の子育て支援ネットワーク組織を育成し、子育て支援活動を行っているところであるが、更なる子育て支援活動の充実や子育て情報発信の充実が望まれている。</p>	
課題	<p>少子化および核家族化に伴い、子育て世代の孤立化が増加している。</p> <p>住み慣れた地域で安心して子育てができるまちづくりを目指して、校区単位の子育て支援ネットワーク組織を育成し、子育て支援活動を行っているところであるが、更なる子育て支援活動の充実や子育て情報発信の充実が望まれている。</p>	
対応方針・新たな取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育て情報が簡単に検索できるように、東区のホームページに子育てマップを掲載するとともに、スマートフォン対応も検討する。</li> <li>「こんにちは赤ちゃん訪問事業」をはじめ、幼児健診や転入手続き時、子育てサークル等で子育てマップを配布し、活用促進を図る。</li> </ul>	

(8) 子どもの遊びプランナー養成事業【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	3 誰もがいきいきと暮らせるまち
	重点的テーマ	2 子どもの育成環境づくり
現状・背景・地域ニーズ	<p>子どもころに自然に触れた、友達と体を使って遊んだ、地域の大人たちと接したなどの経験が多い者ほど、大人になってからの「意欲・関心」「規範意識」「職業意識」が高いという調査結果が報告されている中、ゲームやインターネットに夢中になり、外で遊ばなくなっている。</p>	
課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園はボール遊びが禁止されており、また放課後は基本的に部活以外は学校（グラウンド等）に入れないため、外での遊び場がないことから外に出る機会が少なくなっている。</li> <li>子どもたちが参加している地域行事は、大人が準備したものであって、役割を任せられたものは少ない。また、地域の異世代との交流機会も少ない。</li> </ul>	
対応方針・新たな取り組み	<p>H27年度に実施したモデル事業を検証し、新たなモデル事業を地区を選定し実施。また、地域と地域内の企業等との連携を支援する。</p>	

(9) 東区農業者ネットワークづくり推進経費【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	基本方針	5 暮らしやすく活気あふれるまち
	重点的テーマ	1 地域に根ざした経済の活性化
現状・背景・地域ニーズ	<p>農業は高齢化、後継者不足、内外価格差等の大きな課題をかかえ、また特に東区にあっては住農混在が進み、住民の理解が得られないと農業がやりづらい状況になっている。このような状況の中で、今後の農地・農業関係を見据えながら家族経営、小規模経営への影響等を考慮に入れ、足腰の強い地域農業の確立を図っていく必要がある。</p>	
課題	<p>農地の荒廃、基幹労働力の高齢化など地域農業における生産性の低下、また、これからの農業の再構築のため多面的機能を維持、強化し、農業を通じて地域活性化や伝統文化を守っていく必要がある。このことから農業をはじめ、それを取り巻く関係機関、団体等が一堂に会し、今後の農業情勢の急激な変化への柔軟な対応に努める。</p>	
対応方針・新たな取り組み	<p>平成 28 年度の取組み</p> <p>①東区未来の農業を考える検討会の開催</p> <p>東区管内の農区代表者、認定農業者協議会の代表、農業団体、地域の代表者等により構成し、5 年後、10 年後の農業を見据えて農業の抱える問題課題とこれからの新たな展開について意見交換をする。</p> <p>②東区アグリネット関連事業</p> <p>次代を担う若手農業者の農業経営の確立に向け経営講座、異業種交流、消費者交流の開催</p> <p>平成 28 年度の主な取組み</p> <p>農業経営の決定権委譲に向けたステップアップについて</p> <p>農畜産物即売会の充実強化</p> <p>新たな農業経営を目指して協業化と流通改善・戦略等について部会を設け、検討する。</p>	
懇話会意見	<p>広く浅くといった支援も良いが、子育て世代の後継者達にとって、やりがいのある臨機応変な支援をお願いしたい。</p>	

(10) 東区未来会議の開催【新規】

東区まちづくりビジョンとの関連	東区まちづくりビジョンの推進に向けて 推進体制
現状・背景・地域ニーズ	<p>東区では、東区まちづくりビジョンを指針として、区民と協働でまちづくりを進めていくこととしている。</p> <p>これを実効性のあるものとするためには、区民自らが区政に関心を持ち、東区のまちづくりの指針であるこのビジョンを共有し、区政に対し、意見・提案を行う必要がある。</p>
課題	<p>第1期モニター登録者の任期満了に伴い、若い世代（学生～子育て世代）を対象に第2期モニターを募集したが、応募が少ない状況となっておりモニターからの意見・提案の聴取が困難となっている。</p>
対応方針・新たな取り組み	<p>平成28年度はモニター登録者としての再募集は行わず、「学生」「子育て世代」等の対象を定め、ピンポイントで会議を開催し区政に対する意見・提案を行っていく。</p>

(11) 地域課題検討会改善策実施経費【継続】

東区まちづくりビジョンとの関連	東区まちづくりビジョンの推進に向けて 推進体制
現状・背景・地域ニーズ	<p>平成24年度に東区の18校区自治協議会へ聞き取り調査を実施し、地域が抱える5つの課題「ごみマナー」「地域団体の人材育成」「地域活動への理解促進及び新旧住民の交流」「団体の情報提供」「地域団体以外とのネットワークづくり」を抽出し、この課題の改善に向けた取り組みを実施することとなった。</p>
課題	<p>モデル地区として取り組んだ町内においては、ごみステーションへの違反ごみの排出が減るなど一定の成果が得られているが、モデル地区以外の地域への拡大が課題である。</p> <p>また、地域団体においては、団体間同士での連携・協力体制が進んでいるが、NPO・ボランティア団体などの地域団体以外との連携は進んでいない。一方、NPO・ボランティア団体や大学などはそれぞれの活動分野において様々な活動を行っているが地域の各団体の活動状況について情報を有しておらず、相互連携についての協議も進んでいない。</p>
対応方針・新たな取り組み	<p>モデル地区で取り組んだ内容について、他の地域にも拡大していくよう周知を図り、今後、地域が主体的に取り組んでいけるようアドバイザーの派遣等を行う。</p> <p>また、地域団体以外の活動情報を収集し地域へ発信するとともに、団体のネットワーク化と団体間のコーディネート機能の構築を図る。</p>

## その他 意見・提案

### 【環境整備について】

- ・各自治会の公園に花壇があり、年2回花の苗の配布あるが、もう少し充実できないか。

### 【老人会について】

- ・老人会は日時・場所が決まっているが、そういうものを求めているわけではなく、その時に行って、ただ話ができる「井戸端会議」をする場がほしいという意見が多い。住民が興味を持って取り組めるような場所が必要であり、小学校、中学校の空き教室を活用できないか。学校が無理ならコミセンでもいいが、使用に係る電気代、水道代について補助金等で対応できないだろうか。

### 【江津湖の花火大会について】

- ・花火大会については、今後も継続されるものと思うので、地域が活性化する取組みも必要である。広場（広木公園）を使えるように整備したり、花火に備えてネットワークを作り、組織的に準備を進めていくなど東区でも出来る事業に取り組むべき。
- ・非常に重要なチャンスであると思うので、活かす方策について今後、区役所と健軍校区の様々な団体等と検討していただきたい

### 【まちづくり推進事業について】

- ・まちづくり推進経費についてであるが、これまでに様々な提案を頂き、事業を組み立てているところであるが、予算にも限りがあり事業が増えてくると新しい提案が出されたときにどう取り入れていくかという課題が必ず出てくる。事業数も増えてきているのでスクラップアンドビルドも念頭において計画していただきたい。
- ・予算内で重点目標を作り、受益者負担が必要なものについては、受益者負担をお願いするといったかたちで東区の事業を拡大していくとよいのではないか。民間企業等との連携も必要であり、官民一体となって盛り上げていかなければならない。

### 【区政のあり方について】

- ・5区毎に抱えている問題や人口も違う中で、本庁決定で行われている政令市であり区で対応出来ないところがある。難しい部分であると思うが、区の特徴に合わせた特例措置といったものが様々な分野で出てきてほしい。

## 【参 考 資 料】

### 1 熊本市東区まちづくり懇話会設置要綱

#### 1 設置目的

東区の住民代表で構成される東区まちづくり懇話会（以下「まちづくり懇話会」という。）を設置し、区民の参画によって、東区のみちづくりビジョンに基づく区の特性を生かしたまちづくりに関する事項について協議を行い、区民と区役所の協働により、暮らしやすいまちづくりを推進するもの。

#### 2 まちづくり懇話会の役割

まちづくり懇話会は、市長が委嘱する市民で構成する協議の場として、東区のみちづくりビジョンに基づく区の特性を生かしたまちづくりに関する事項について協議し、その結果を東区長に報告する。

#### 3 設置規定

熊本市東区まちづくり懇話会設置要綱に基づき設置するもの。

「審議会等の設置等に関する指針」に定める『懇談会等』の位置づけとなり、審議会等に含まれる。

#### 4 委員の位置づけ

まちづくり懇話会の委員は、非常勤特別職の位置づけとし、会議出席に対して報酬（日額3千円）を支給する。

#### 5 委員数

委員は、20人以内とする。

※主な構成員は、学識経験者、校区自治協議会会長、公募委員、事業者等

#### 6 会議の開催回数、運営等

- (1) まちづくり懇話会の会議は、原則として年5回開催する。
- (2) まちづくり懇話会に会長及び副会長を置く。
- (3) 会長はまちづくり懇話会を代表し、会務を総理する。
- (4) まちづくり懇話会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。
- (5) まちづくり懇話会の会議は、公開とする。

#### 7 スケジュール

H27年度									
6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1回懇話会開催 (6月29日)		区内視察 (8月9日)	第2回懇話会開催 (9月2日)	第3回懇話会開催 (10月7日)	第4回懇話会開催 (11月12日)	区長へ報告		第5回懇話会開催 (2月中旬)	

2 熊本市東区まちづくり懇話会委員一覧

(敬称略)

	分野	氏名	性別	所属団体等	役職名
1	学識 経験者	◎澤田 道夫	男	熊本県立大学総合管理学部 総合管理学科	准教授
2		的場 英行	男	東海大学経営学部経営学科	准教授
3	地域代表	村上 吉宏	男	(託麻総合出張所管内) 託麻北校区自治協議会	会長
4		吉田 伸也	男	(秋津出張所管内) 桜木校区自治協議会	会長
5		竹本 勇	男	(東部出張所管内) 泉ヶ丘校区自治協議会	会長
6		松尾 辰藏	男	(東部出張所管内) 東町校区自治協議会	会長
7	地域・女性	宮崎 睦子	女	熊本市地域婦人会連絡協議会	桜木校区 会長
8	防犯	餅崎 学	男	東地区防犯協会	副会長
9	健康	戸高 幹夫	男	東区生活習慣病ネットワーク 連絡会	医師
10	福祉	○松瀬 美智子	女	東区民生委員児童委員協議会	監事
11	青少年	佐土原 眞奈美	女	東区 PTA 連絡会	東町中PTA 会長
12	子育て	西原 明優	男	東区子育て支援ネットワーク 連絡会	会長
13	市民活動	松永 重雄	男	たくま三山会	会長
14	商工業	古嶋 徹	男	託麻商工会	事務局長
15	農業	水谷 家津雄	男	供合営農組合	組合長
16	学生代表	竹山 千晶	女	熊本県立大学総合管理学部	3年
17		穂園 哲郎	男	東海大学経営学部	3年
18	公募	山田 はる美	女	一般公募	—
19		伊志嶺 朝紀	男	一般公募	—

◎会長、○副会長

### 3 熊本市東区まちづくり懇話会 審議経過

会議	開催日時	内容
第1回	6月29日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○委員委嘱</li> <li>○東区まちづくり懇話会の概要について</li> <li>○東区まちづくりビジョンについて</li> <li>○平成27年度東区まちづくり推進経費について</li> </ul>
区内視察	8月9日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○区内視察 <ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域等の取組み、課題など</li> </ul> </li> </ul>
第2回	9月2日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) これまでの取組実績及び課題の検証について <ul style="list-style-type: none"> <li>①東区まちづくりビジョン策定時の地域の課題</li> <li>②東区まちづくり推進事業の取組実績及び検証</li> </ul> </li> <li>(2) 次年度以降の取組みについての委員提案について</li> </ul> </li> </ul>
第3回	10月7日(水)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 東区まちづくり推進事業の来年度の取組みについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・東区まちづくり懇話会協議項目</li> <li>①まちづくり懇話会からの提案に対する取組み</li> <li>②東区中学生による未来会議からの提案に対する取組み</li> <li>③区提案の取組み</li> </ul> </li> <li>(2) 来年度以降の取組みについての委員提案について</li> </ul> </li> </ul>
第4回	11月12日(木)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○議事 <ul style="list-style-type: none"> <li>・東区まちづくり懇話会報告書(案)について</li> </ul> </li> </ul>
報告	○月○日(○)	区長へ報告書提出
第5回	2月中旬(予定)	○事業検証等、新年度事業説明

